



子高齢化が同時進行する、いまだかつて誰も経験したことのない時代を迎えていて、それは小牧市も決して例外ではありません。

伊藤 小牧市は財政が安定していること聞いたことがあります。

市長 そうですね。確かに、小牧市は先人のご努力で全国屈指の財政力を誇り、一方で全国の人口動態から比べると、人口減少や高齢化の進行も遅い状況です。しかし、このまま行くと、この数年の内に小牧市の人口も減少に転じる予測であり、さらには、小牧市もあと1、2年で高齢化率21%を超え超高齢社会となり、およそ7、8年で25%を超えることとなります。

梶田 4人に1人ということですね。

市長 そうです。3人に1人が高齢者という時代も小牧市にも確実にやってきます。これは、進行が遅いだけであって小牧市も決して例外ではないということです。

植木 働き手も減ることになりますね。

市長 ええ。日本の社会は、右肩上がりの時代が終わって、低成長の時代、あるいは右肩下がりと言っても過言ではない時代に突入しています。これまでの我が国の制度や仕組みはおおよそ右肩上がりの時代が続くことを前提につく

られたものであって、時代が変わり、さまざまな弊害が出るようになったのが今日の状況です。

山中 そうなると、これからは何か変えていかなければいけないということになりますよね。

市長 そうです。私たちは、まず右肩上がりに慣れ必要と頭を180度切り替える必要に迫られています。右肩上がりの時代は、去年より今年の方が一人口が増えて当たり前、去年より今年の方が「給料が増えて当たり前」、行政においても去年より今年の方が「税収も増えて当たり前」といった時代であり、増えた分の税収を何に使おうかということ、地域の要望を聞き、さまざまな仕事を行政が引き受けてきた時代でした。そのため行政の仕事は年々肥大化してきました。しかし、これからの時代はそうはいきません。給料はなかなか増えず、人口が減るといふことは、経済規模が縮小し、税収も減っていく時代となり、もはや政治家や行政が市民受けの良いことだけを言える状況ではなくなりました。

このような時代だからこそ、市役所だけで仕事をすることはなく、地域と密接にかかわって、市民の皆さんと一緒に地域運営を



株式会社クラウン・パッケージ
植木 雅斗さん



株式会社田邊空機機械製作所
梶田 将也さん



東春信用金庫
山中 香歩さん



株式会社エス・エス産業
伊藤 綾さん

新社会人×市長

新春市長対談



小牧市長 山下 史守朗



新年あけましておめでとうございます。これからの社会を担っていく若い世代の中から、昨年春に市内の企業に就職された新社会人の皆さん4人を小牧市役所に迎え、山下市長と「小牧の将来」について語っていただきました。(敬称略)

自己紹介

伊藤 (株)エス・エス産業の伊藤綾といいます。会社は人材サービスをやっていて、私が今やっている仕事は、業務請負の現場の管理者研修です。

山中 東春信用金庫の小牧西支店に勤めている山中香歩です。私は窓口でお客様の対応をさせていただいています。

梶田 (株)田邊空機機械製作所の梶田将也です。会社はコンプレッサーの開発、製造、販売などをしていて、私は工作機械の操作の仕事を勉強しています。

植木 (株)クラウン・パッケージに勤めている植木雅斗です。会社は美粧用の段ボールパッケージをつくっていて、私は印刷箱打抜きオペレーターをしています。

右肩下がり時代！
助け合いの地域づくりへ

山中 これからは私たちの世代が社会を支えていくことになると思うのですが、小牧市の将来はどのようなふうになっていくのでしょうか。

市長 現在、日本は人口減少と少



是非この小牧市で、それぞれ大きな夢を描いて力強いチャレンジを始めてください。小牧市は、そんな志ある皆さんを温かく応援できるまちでありたいと思います。

植木 私たち若者もチャレンジできるそんなまちに住みたいですね。

市長 住みたい、住み続けたい、訪れたいまちとして選ばれ、魅力と活力あるまちを目指して、私も市長としてさらなるチャレンジをしていきたいと思っています。皆さん、今日はありがとうございました。

新社会人一同 ありがとうございます。

対談後記



植木 雅斗さん
株式会社クラウン・パッケージ

お会いした時の第一印象は”若い”。緊張が解けリラックスして話をすることができました。小牧の歴史をとて詳しく教えていただき、小牧の地名には昔の名残があるという話は感銘しました。私の住んでいる外堀をより好きになることができました。

市長の小牧市に対する熱意が強く、市民の側にとって市政を進めてくれているのが伝わってきました。私も小牧の変革を願い、早く一人前の仕事ができるように精進していきます。



梶田 将也さん
株式会社田邊空機機械製作所

最初に市長とお会いした時の印象は、私の想像とは全然違っていました。実際にお会いしてみると、市長はとても若く、笑顔が素敵で、そしてとても話しやすい方だと思いました。

小牧市で生まれ育った私でも知らない小牧市の魅力をたくさんご存知で、私の質問にも丁寧に分かりやすくお答えいただきとてもうれしかったです。自分が思っていることを市長に聞いてもらう事ができ、また市長が考えられていることも聞くことができ、とてもよい経験になりました。



山中 香歩さん
東春信用金庫

山下市長にお会いするまでは、緊張と不安がいっぱいでしたが、対談はとても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

私にとって、小牧市は「工業のまち」のイメージでしたが、対談の中で、地域活性化のために年間を通じて多くの祭りやイベントが催されていることや、積極的な子育て支援、人にやさしいまちづくりへの取り組みなどをお聞きして、あらためて小牧市に親しみを覚えました。

今後、色々な所を訪問して私が知らない小牧市を発見したいと思います。



伊藤 綾さん
株式会社エス・エス産業

小牧市民となって、たった半年の私にとって、今回の対談は、小牧市の歴史、まち、政治を知る、とても濃い「授業」のようでした。私たちの発言に対する市長の受け答えやリアクションはとても親近感があり、市長が熱く語る場面では思わず話に聞き入ってしまうことが多かったです。

また、同席した新卒就職者の皆さんからも、教えてもらってばかりでしたので、今回抱いた興味・関心をきっかけに、これからは私ができることを社会に発信できるようになりたいと思います。

子育てしやすいまち

伊藤 市長にはお子さんがいらっしゃるのだから。

市長 ええ、4歳と2歳の子がいます。うちも男の子です。

梶田 小牧市の子育て支援はどうですか。

市長 子育てについては、以前から小牧市は他市と比べて手厚いと思います。さらに私が市長に就任してから、おたふくかぜや水ぼうそうワクチンの全額助成、延長保育の拡大や放課後児童クラブの時間延長、子ども服のリニューアル事業、小中学校への防犯カメラや緊急連絡装置の設置、小中学校・保育園給食食材の放射能測定などを実施してきました。

少子高齢化時代、産業都市小牧が活力を維持していくためにも、家庭と仕事が両立でき、安心して子育てができる環境づくりにはさらに力を入れて取り組んでいきたいと思っています。皆さんが子どもを産み育てるなら、ぜひ小牧市で。

夢・チャレンジの地 小牧

山中 そういえば、今年是小牧山城築城450年と聞いたことがあります。

市長 はい。小牧山は小牧・長久手の戦いで有名なんです。その前に織田信長公が自ら城を築いた最初の場所、今年ちょうど450年目に当たります。

信長公は生涯に4つの城を居城としたけれど、天下統一の夢を抱き、信長公らしい新しい発想で革新的な城づくりと城下町づくりを試みた最初の場所が小牧なんです。近年の発掘調査では、小牧山山頂に石垣が見つかりこの小牧山城が近世城郭のルーツではないかと大きな注目を浴びるようになりました。

植木 城下町もあったのですか。



市長 そうですね。ちょうどこの市役所が建っているあたりに幕盤の目のように整備された城下町があった、武家屋敷があったり、鍛冶屋があったり、商人が住んでいたりと。だから、城にまつわる地名が多くあるんです。

植木 信長公というと、楽市楽座など新しいことに取り組んだというイメージがあります。

市長 信長公は戦国の乱世に、常識にとられない柔軟な発想と類まれな行動力で時代を切り拓いた傑物であり、この地で夢を描き、天下統一に向かってチャレンジをしていったのです。

今も信長公の頃のように将来が見通しにくい混沌とした時代だと思っています。

市長 そうですね。私たちの暮らし現代もまた先行き不透明な時代であり、未来を切り拓く新たな創造が求められています。今年の450年記念事業では、市民の皆さんとともに、信長公が「この地で描いた夢と挑戦に想いを馳せつつ、単なる歴史まつりではなく、未来志向のまつりにしたいと考えています。」

大いなるチャレンジで時代を切り拓いた信長公という戦国の傑物が、自らの天下統一の夢へのスタートの地と定めた郷土の歴史を誇りとして、小牧市は郷土に向けて一層素晴らしい郷土として輝き続けることができるように、また次代を担う子どもたちが夢に向かって大いに羽ばたけるように、市民の皆さんとともにこれからのまちづくりを考え、挑戦をしていきたい。そうした想いを込めて「夢・チャレンジの地 小牧」をキャッチフレーズに今年からキャンペーンを引っ掛けていきます。

伊藤 わたしたちにとっても、小牧市は「夢・チャレンジ」の地です。

市長 ええ。新社会人の皆さんも、